

② これれ邪氣とらものは風府から入り病とシラ
 ③ 瘧疾の脊背に風府に客し、衛氣が風府に至れば、腠理
 ちよ一般に脊を下に性質にあおとるの衛氣は
 月一度必し風府を循子の瘧疾は一日に一部
 脊を下にシラうの

靈枢、歳露論第七十九
 瘧疾の日に一部脊を下に論也

素瘧論四

黃帝問于岐伯曰、經言夏月傷秋病瘧、瘧之發以時、
 其故何也、岐伯對曰、邪客于風府、病循脊而下、衛氣

一日一夜常大會于風府、其明日日下一節、故其日作晏
 此其先客脊背也、故每至于風府、則腠理開、腠理開、
 則邪氣入、邪氣入、則病作、此所以日作尚晏也、衛氣之

行風府、日下一節、二十一日下至尻、二十二日入脊內、注于
 天突、

其行九日出于缺盆之中、其氣上行、故其病

④ 瘧疾の日は、衛氣が邪氣（風府より）一日一節
 下つて、21日目に尻に至り、22日目の脊の内側
 衛脈（五臓の筋）に入るので、9日とて
 靈七十九
 五臓、一種隔膜などに付き、製作は起り
 にくる。

此は衛氣か？ 衛氣と瘧疾の合同の

素瘧論「早」

④ 体内に侵入した瘧邪は、五藏や横隔膜を深く是循するの動作は各自起るが、高積を起す

④ 稍益至其内搏於五藏横連募原其道遠其氣深其行

⑤ 遲不能自作故次日乃高積而作焉

⑤ 黄帝曰衛氣每至於風府腠理乃發發則邪入焉其

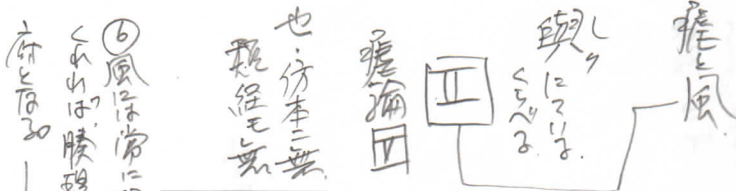
⑥ 衛氣日下一節則不當風府奈何岐伯曰風府無常衛

氣之所應也聞其腠理氣之所舍節則其府也

⑦ 黄帝曰善夫風之與瘧也相與同類而風常在而瘧

時以時休何也岐伯曰風氣留其處瘧氣隨經絡次以

⑧ 內搏故衛氣應乃作也而日善



⑥ 風は常に留る所は互に衛氣の反逆してこれらに腠理の中を和して風邪の合する所

⑦ 風と瘧は同類のようだが、風は常に体表にあり、瘧の発作には休止期がある。瘧は経絡に従って体内に入り、故にここに来た衛氣に就いて発作を起す。

素問七十九

⑧ 風邪は、体表に留る

四

黃帝問於少師曰余聞四時八風之中人也故有寒暑寒則

皮膚急而腠理閉暑則皮膚緩而腠理開賊風邪氣

因得以入乎將此須八正虛邪乃能傷人乎少師答曰

不然賊風邪氣之中人也不得以時然也因其開也其入

深其內極病其病人也卒業因其開也其入淺以留其

病也徐以遲

黃帝曰有寒溫和適腠理不開然有卒病者其故何也

少師答曰帝弗知邪入乎雖平居其腠理閉閉緩急其故常有

須 ちとあま
ちとあま
まつ、とあま
すかたらくて
ちとあま
ついに、すかた
くといえども
各詞、ヒヤ

函五七十九一三
天(甲乙)
因(ヨリ)

種シ名ノ目ト

精

時也。黃帝曰可得聞乎。少師曰人與天地相參也。與日

月相應也。故月滿則海水西盛人血氣積。肌肉充皮膚緻毛

「揚煙塵垢散於腠理」六庚の一

髮聖腠理却煙垢著。當是之時雖遇賊風其入淺不深

却シ却シ却シ

皮膚のシラ

至其月郭空則海水東盛人氣血虛其衛氣去形獨居肌

揚シ却シ也
けありす
カク物郭

肉減皮膚縱腠理開毛髮殘。腠理薄煙垢著。當是之

カク物郭
やまひ子
ニ深し子

時遇賊風則其入深其病人也卒暴

黃

帝曰其有卒然暴死暴病者何也。少師答曰三虛者其死

三虚三虚

IV

暴死也。得三虚者邪不能傷人也。

三疾

靈七十九一四

日ありて
評定を定め

物實は
實と道と韻

成年の
子

▽

黃帝曰願聞三虛少師曰來年之衰逢月之空失時之和

因爲賊風所傷是謂三虛故論不知三虛工反爲展觀

帝曰願聞三實少師曰逢年之盛過月之滿得時之和雖有

賊風邪氣不能厄之也命曰三實黃帝曰善乎哉論明乎

哉首請藏之金匱然此一夫之論也

黃帝曰願聞歲之所以皆同病者何因而然少師曰此八正

之候也黃帝曰候之奈何少師曰候此者常以冬至之日

太一立於叶蟄之宮其至也天必應之以風雨者矣風雨

工のありてに及して

張志聰
冬主立春
夏至立夏
春分主秋
秋分主冬

KOKUYO

鹽七十九、五

犯其の
逆せし
もつら
もつら

從^リ南方來者爲^リ虛風賊傷人者也其以夜半至也萬民皆
 臥而^レ犯^ル也故其歲民少病其以晝至者萬民懈惰而
 皆中於虛風故萬民多病虛邪入容於骨而不發於外
 至其立春陽氣大盛曉理開因立春之日風從西方來萬
 民又皆中於虛風此兩邪相搏經氣結代者矣故諸論
 其風而過其雨者命曰過歲露正意
 因歲之和而少賊風者民少病而少死歲後賊風邪氣
 寒過不和則民多病而死矣

VI

黃帝曰虛邪之風其所傷貴賤何如候之奈何少師答

簡元旦
占八風見漢書
天文志

曰正月朔日太一居天留之宮其日西北風不雨人多死矣。

正月朔日平旦北風春氏多死正月朔日平旦北風行民

病多者十有三七也正月朔日日中北風夏氏多死正月朔日

夕時北風秋氏多死終日北風大病死者十有六正月朔日

風從南方來命曰旱鄉從西方來命曰白骨將國有殃

人多死正月朔日風從東方來發屋揚沙石國有大災

也正月朔日風從東南方行春有死亡正月朔日天利溷

靈七十九一七

抽書本和

米穀物かいはんのなげ不風か糶ア賤民セ不病ス天寒ア而風糶ア貴民モ多病ナリ此所謂イハレ候歲フ

之風イ糶ス傷人ス者也ナリ二月ニ丑ハ不風ア民多ク心腹病ヲ三月ニ戌ハ不温ナラ民

多寒熱セ四月ニ巳ハ不暑ナラ民多ク痺病ヲ十月ニ申ハ不寒ナラ民多ク暴死セ

諸所謂ニ風者ニ皆發屋折樹木揚沙石起毫毛發腠理者也ナリ

風 賊
馬 張
ミ 三 三

鹽七十九一八